

薬剤の漫然投与の回避

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、副作用歴を聴取し、薬剤の処方背景を理解することで薬剤の漫然投与の回避に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

患者背景

W さん

▶脳出血の精査・加療目的にて入院中の患者。

【持参薬】

アムロジピン錠（5mg） 1 回 1 錠 1 日 1 回 朝食後



W さんこんにちは。
アレルギーや今まで使ったお薬で体調を崩したり、**副作用**と言われたことはありませんか。



薬剤師

アレルギーはないよ。
前に甲状腺の癌でレンビマ[®]飲みよったんやけど、
その**副作用**で血圧上がったんよね。



そうだったんですね。
今も血圧を下げるお薬を飲まれていますね。

そうよ。その時に始まったんよ。

アムロジピンは続けるように言われていますか。



ん～。何もいわれてないと思うけどなあ。



W さんの降圧薬ですが、以前服用されていたレンビマ[®]の副作用症状に対して処方されていたそうです。血圧も安定しているようですので、アムロジピンを中止してはどうでしょうか。



そうでしたか。
では血圧も 110/70mmHg と落ち着いていますので、アムロジピンは中止としましょう。



医師

処方背景を理解することにより、薬剤の漫然投与を回避することができた。